

実践課題 NO.2 設 計 課 題 「高齢者の集う趣味(絵手紙)室のある二世帯住宅(木造2階建)」

1. 設計条件

- 絵手紙を趣味とする近隣在住の高齢者が集う趣味室のある二世帯住宅(玄関、居間等を共用する)を計画する。
- 計画に当たっては、次の①～③に特に留意すること。
- ①趣味室には専用の出入口を設け、住宅の玄関と明確に分離し、屋内の1階部分で行き来できるようにする。
- ②道路から駐車スペース及びそれぞれの出入口への動線を考慮した配置計画を行う。
- ③居間は親世帯夫婦室からも使いやすい位置に設けるとともに南側に配置し、休日などには家族全員でくつろげるように計画する。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の制限60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平たんで、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造及び階数

木造2階建とする。

(3) 延べ面積

必ず「170㎡以上、210㎡以下」とする。

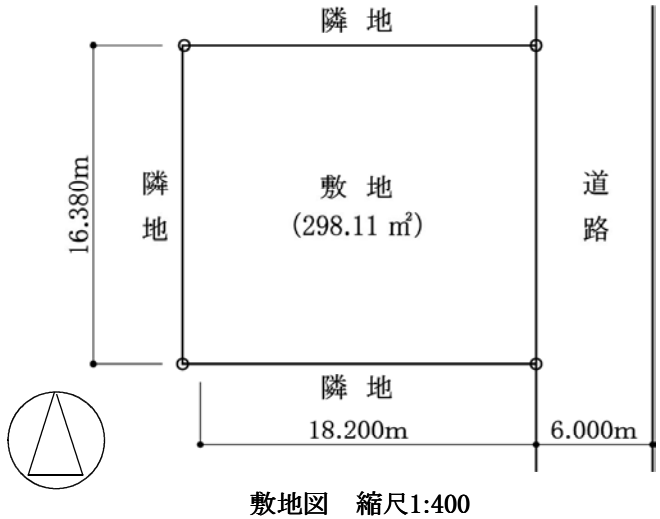
(床面積についてはピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しないものとする。)

(4) 家族構成等

- ア. 親世帯:夫婦(60歳代、絵手紙教室講師)
- イ. 子世帯:夫婦(30歳代)、子供1人(女子小学生)

(5) 要求室 (下表のすべての室は必ず指定された設置階に計画する)

設置階	室 名	特 記 事 項
1 階	玄関	・下足入れを設ける。
	台所	ア. 1室または2室としてもよい。
	食事室	イ. 計30㎡以上とする。
	居間	
	夫婦室(親世帯)	ア. 洋室16㎡以上とし、その他に収納を設ける。
	趣味室	ア. 絵手紙の製作に使用するとともに、絵手紙教室としても使用する。 イ. 洋室18㎡以上とし、その他に収納を設ける。 ウ. 画材を保管する棚(1,800mm×300mm)を設ける。 エ. 流し台(1,500mm×600mm)を設ける。 オ. テーブル(1,800mm×1,200mm)を配置する。 カ. 床は、土間コンクリートとする。
	趣味室便所	ア. 心々1,200mm×1,500mm以上とする。 イ. 趣味室から直接使用できるようにする。
	多目的室	ア. 9㎡以上とし、テーブル、展示棚を設ける。 イ. 作品展示・鑑賞、友人との会話等に使用する。 ウ. 趣味室と直接行き来できるようにする。
	浴室	・3㎡以上とする。
	洗面脱衣室	ア. 6㎡以上とする。 イ. 家事コーナーを設ける。
	便所	・心々1,200mm×1,500mm以上とする。 (注)住宅部分の1階の廊下の幅は心々1,200mm以上とする。
2 階	台所	ア. 1室または2室としてもよい。
	食事室	イ. 計16㎡以上とする。
	夫婦室(子世帯)	・洋室16㎡以上とし、その他に収納を設ける。
	子供室	・洋室13㎡以上とし、その他に収納を設ける。
	浴室	・3㎡以上とする。
	洗面脱衣室	ア. 6㎡以上とする。 イ. 家事コーナーを設ける。
	便所	・広さは適宜とする。



(6) 駐車・駐輪スペース

屋外に下記のスペースを設ける。

名 称	特 記 事 項
駐車スペース	小型乗用車(5人乗り)2台分(客用1台、家族用1台)を設ける
駐輪スペース	自転車2台分(客用)を設ける。

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。)
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の 1目盛は、4.55mm(矩計図にあつては、10mm)である。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。

要 求 図 書 ()内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼 配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 道路から玄関へのアプローチ、駐車スペース、駐輪スペース、電動カート、門、塀、植栽等を記入する。 ウ. 室名を記入する。 エ. 住宅には、次のものを記入する。 下足入れ、台所設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫等)、浴槽、洗面台、洗濯機、洋式便器を記入する。 趣味室にテーブル、いす、棚、ミニキッチン、趣味室便所に洋式便器、手洗い器、手摺。 オ. 「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。 (注)「耐力壁」とは、筋かい等を設けた構造上有効な壁をいう。(以下同じ) カ. 矩計図の切断位置を記入する。
(2) 2階平面図 (1/100)	ア. 建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 室名を記入する。 ウ. 洗面台、洋式便器、家具を記入する。 エ. 「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。 (注)「耐力壁」とは、筋かい等を設けた構造上有効な壁をいう。 オ. 1階の屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 カ. 矩計図の切断位置を記入する。
(3) 2階床伏図 兼 1階小屋伏図 (1/100)	ア. 主要部材(通し柱、1階及び2階の管柱、胴差、2階床梁、桁、小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋束)については、凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋束を除く)を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太については、記入しなくてもよい。 イ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に記入する。 ウ. 建築物の主要な寸法を記入する。
(4) 立面図 (1/100)	南側立面図とする。
(5) 矩計図 (1/20)	ア. 切断位置は、1階・2階それぞれの外壁の開口部を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってもよいものとする。 エ. 主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、ひさしの出、開口部の内法、屋根の勾配)を記入する。 オ. 主用部材(基礎、土台、大引、1階根太、胴差、2階床ばり、2階根太、桁、小屋梁、母屋、垂木)の名称・断面寸法を記入する。 カ. 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。 キ. アンカーボルト、羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 ク. 外気に接している次の部分の断熱・防湿措置を記入する。 ・屋根(小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井) ・外壁 ・1階床 ・その他必要と思われる部分 ケ. 室名及び内外の部位(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上げ材料名を記入する。
(6) 面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。